



Medical

第29期 中間事業報告書

平成16年7月1日から平成16年12月31日まで

**Medical
Device**

**Industrial
Device**



ASAHI INIECC CO.,LTD.



Medical

目次

ごあいさつ ————— 2

連結財務ハイライト ————— 3

トピックス ————— 5

セグメント別営業の概況 ————— 7

財務諸表（連結） ————— 9

- 中間連結貸借対照表 ●中間連結損益計算書
- 中間連結剰余金計算書 ●中間連結キャッシュ・フロー計算書

財務諸表（単体）・株式の状況 ——— 11

- 中間貸借対照表 ●中間損益計算書 ●株式の状況

会社の概要・株主メモ ————— 13



Medical Device



Industrial Device

ごあいさつ

株主の皆様へ

株主の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

おかげさまで、当社は平成16年7月1日にジャスダック市場へ株式上場を果たすことができました。これもひとえに皆様の格別のご支援とご高配の賜物と存じ、厚く御礼申し上げます。

さて、ここに当社グループ第29期中間連結会計期間（平成16年7月1日から平成16年12月31日まで）の営業の概況につきましてご報告申し上げます。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、輸出の増加に伴う企業収益の改善や、設備投資が回復傾向を示すなど、一時に明るい兆しが見られましたが、世界経済は、米国や中国経済等への先行き懸念が高まる中、景気拡大を続けている欧州において減速の兆しが見られるなど、回復は緩やかになってきております。

当社グループの関連する医療機器業界におきましては、政府の医療費抑制政策が一層強化され、市場環境は厳しいものとなりました。さらに、国内・海外市場を問わず、新製品開発や価格面での競争が継続するなど、企業間競争も熾烈さを増しております。

また、OA機器、自動車をはじめとする産業機器業界におきましては、輸出関連、設備投資関連の回復による需要の拡大が見られましたものの、海外製品との価格競争



は一段と激化し、総じて厳しい状況で推移いたしました。このような状況の中で当社グループは、海外売上高の拡大に向けて、米国・欧州を中心としたグローバル展開を本格化し、また高付加価値製品の拡大に向けて、技術的優位性と開発力の向上に努め、絶えず製品の高機能化・高品質化に注力いたしました。

その結果、当中間連結会計期間における売上高は36億80百万円（前年同期比18.8%増）となりました。利益につきましては、高付加価値製品の売上が伸長したこと、及び好調な売上に伴う原価低減効果や海外子会社の工場での原価低減の寄与もあり、経常利益は6億44百万円（同31.4%増）、中間純利益は4億4百万円（同15.9%増）となりました。

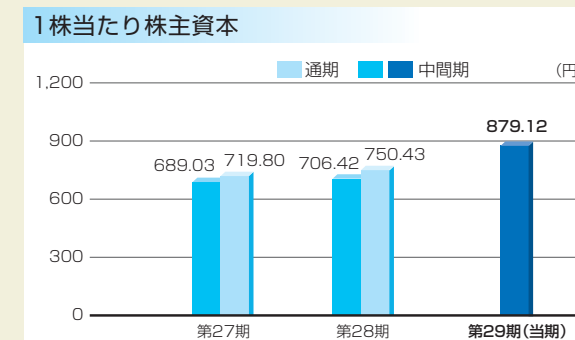
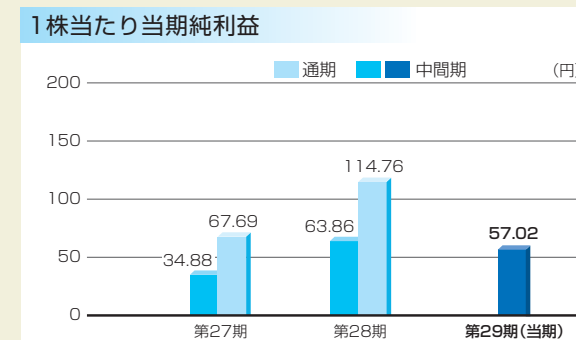
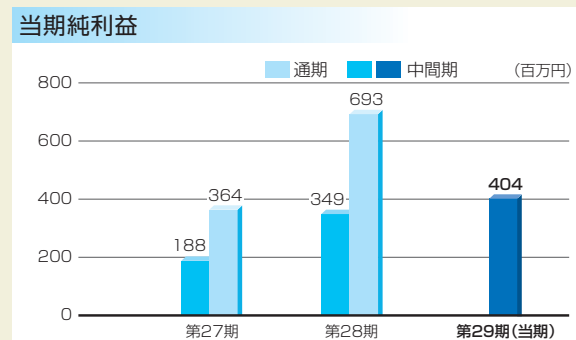
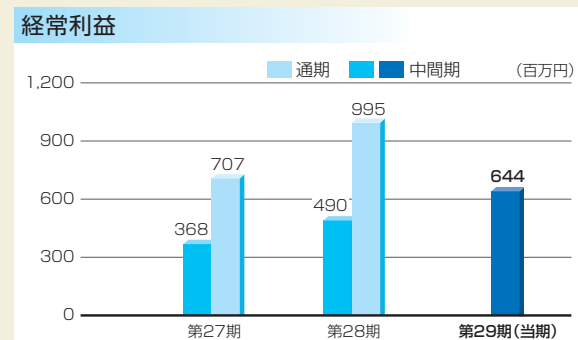
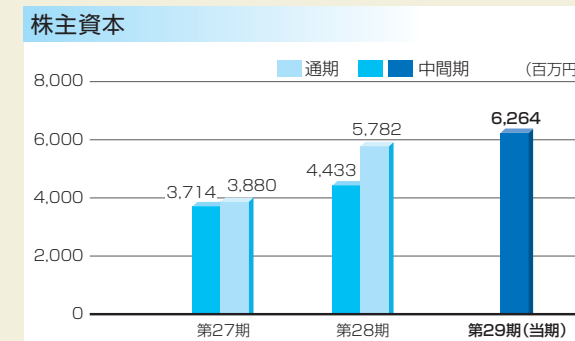
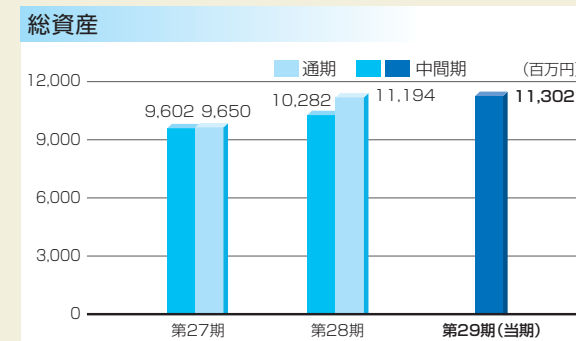
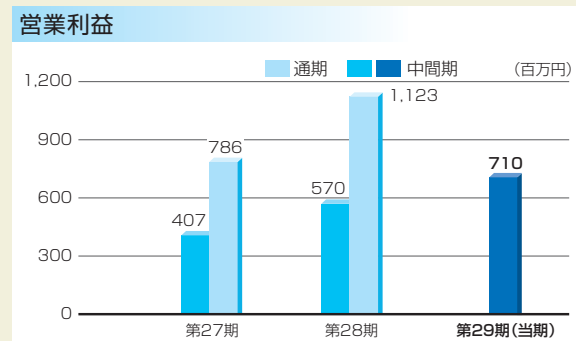
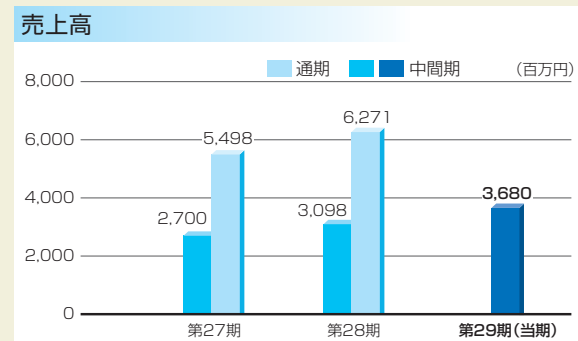
当社グループは、研究開発型企業として、常にオンリーワン製品・ナンバーワン製品の開発・製造を追求することにより、社会に貢献していくという基本精神を常に持っております。

今後も、社会に貢献できる企業であり続けることで、社会からも市場からも評価される企業として、更なる成長を遂げたいと考えております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成17年3月

代表取締役社長 喜田尚彦



(注) 当社は、平成16年3月22日付で株式1株につき3株の分割を行っております。
 また、平成16年7月1日付で公募増資により700,000株、平成16年7月31日付でオーバーアロットメントによる第三者割当増資により150,000株、それぞれ発行しております。
 上記「1株当たり当期純利益」「1株当たり株主資本」のグラフでは、当該株式分割に伴う影響を加味し、適及修正を行った場合の数値を表記しております。

区分	第27期中間期 (14年12月中間期)	第27期 (15年6月期)	第28期中間期 (15年12月中間期)	第28期 (16年6月期)	第29期中間期 (16年12月中間期)
売上高(百万円)	2,700	5,498	3,098	6,271	3,680
営業利益(百万円)	407	786	570	1,123	710
経常利益(百万円)	368	707	490	995	644
当期純利益(百万円)	188	364	349	693	404
総資産(百万円)	9,602	9,650	10,282	11,194	11,302

区分	第27期中間期 (14年12月中間期)	第27期 (15年6月期)	第28期中間期 (15年12月中間期)	第28期 (16年6月期)	第29期中間期 (16年12月中間期)
株主資本(百万円)	3,714	3,880	4,433	5,782	6,264
株主資本比率(%)	38.7	40.2	43.1	51.7	55.4
1株当たり当期純利益(円)	104.65	203.08	191.59	114.76	57.02
1株当たり株主資本(円)	2,067.09	2,159.41	2,119.28	750.43	879.12
1株当たり配当金(円)	0.00	50.00	0.00	20.00	0.00

(注) 当社は、平成16年3月22日付で株式1株につき3株の株式分割を行っております。
 また、平成16年7月1日付で公募増資により700,000株、平成16年7月31日付でオーバーアロットメントによる第三者割当増資により150,000株、それぞれ発行しております。
 上記の数表における1株当たりの数値については、当該決算期の平均発行済株式総数に基づく数値を表記しております。

TOPICS

1 JASDAQ市場に上場

当社は、知名度の向上、優秀な人材の確保、信用力の拡大、資金調達の円滑化といった経営基盤の強化を目的とし、株式公開に向けて準備を進めてきましたが、このたび平成16年7月1日付けで、JASDAQ市場に株式上場を果たすことができました。これもひとえに皆様の格別のご支援とご高配の賜物と存じ、厚く御礼申し上げます。

今後は、株式公開企業としての責務を果たし、全社員一丸となって業績の向上と業容の拡大に努めてまいります。



上場日の模様



TOPICS

2 米国現地法人を設立

今後、医療機器分野における米国での本格的な事業展開を行うことを目的とし、平成16年7月15日付けで、カリフォルニア州に現地法人「ASAHI INTECC USA, INC.」を設立いたしました。米国および周辺国において、医療技術や製品に関する情報収集とマーケティング活動を中心とした営業活動を展開しております。



米国法人のあるOne Newport Place

TOPICS

3 当社が「愛知ブランド企業」に認定

当社は、平成16年度「愛知ブランド企業」に認定されました。これは、愛知県が産業振興を図る目的で、県内の「特長ある企業」「独自の技術を保有する企業」などを愛知ブランド企業と認定して、愛知県の製造業の実力を広くアピールしようとするものであります。優れたものづくり企業として、当社が評価された結果であります。

●愛知ブランドについてのHPアドレス

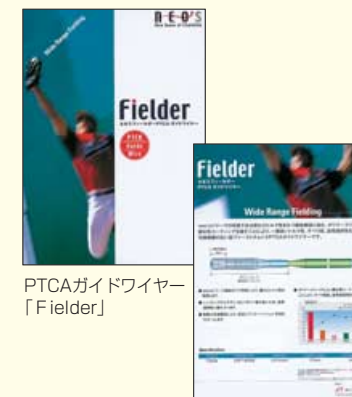
<http://www.pref.aichi.jp/shinsangyo/aichibrand/index.htm>



TOPICS

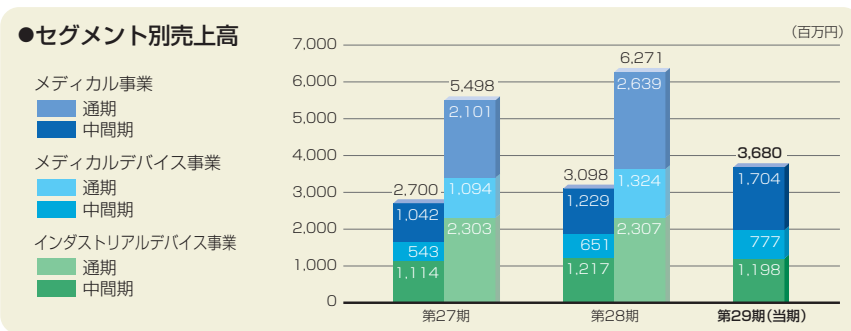
4 新製品紹介「Fielder (フィールダー)」

平成16年9月21日より、PTCAガイドワイヤーの新製品 neo's シリーズ「Fielder」の販売を開始いたしました。この「Fielder」は、優れたトルク性を持つ製品構造に加え、ポリマースリーブと親水性コーティングを施すことにより、一層高いトルク性、すべり性、血管選択性を発揮することが可能となりました。様々な病変や血管の形態にも対応可能であり、守備範囲の広い新ファーストチョイスガイドワイヤーです。これ以外にも、末梢血管高度狭窄部用ガイドワイヤー「Treasure12」、IVRガイドワイヤー「BEGIN」などの新製品の販売を開始いたしました。



PTCAガイドワイヤー「Fielder」

当社グループは、製品内容に応じ、
 メディカル事業、
 メディカルデバイス事業、
 インダストリアルデバイス事業の
 3事業にて構成されております。

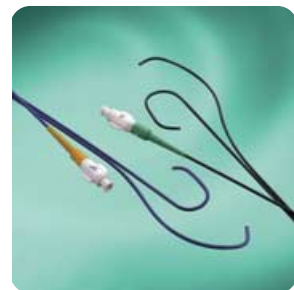


Medical

メディカル事業



PTCAガイドワイヤー



PTCAガイディングカテーテル

当事業は、当社グループの主体事業であり、主に心臓循環器系疾患の診断および治療領域分野においての低侵襲治療製品を開発・製造・販売し、主に販売代理店を通じて病院などへ販売しております。連結子会社フィルメック株式会社は、一部の医療器具について原材料の一部を当社より入手し製造および販売をしております。当社グループは、医療機器分野における循環器の治療用カテーテルシステムについて、グローバル展開を加速化することを中期戦略の一つに掲げております。グローバル市場環境は、米国を中心に各国で薬剤ステントの普及が拡大することなどに伴い、PTCA治療件数も拡大傾向にございます。このような中、当社グループは、アポットラボラトリーズ社との間における、当社の主要戦略製品PTCAガイドワイヤーの欧米地域などにおける独占販売代理店契約を、当初の契約期間2年（平成15年10月～平成17年10月）から、5年間（平成16年12月～平成21年12月）に延長いたしました。これは、独占販売代理店契約締結（平成15年10月）後、取引が大変好

調に推移したことから、更なるシェア拡大を目指し、一層のグローバル展開を図ることを目的としたものです。また、アジア地域についても、米国での取引が好調に推移した好影響をうけ、また、合わせて販売促進活動を積極的に展開したことから受注は拡大傾向にございます。国内市場でも、PTCAガイドワイヤーの新製品「Fielder」を市場に投入するなど、積極的な展開を図り、大変好調な推移をいたしております。その結果、治療用カテーテルシステムは、主要戦略製品であるPTCAガイドワイヤーを中心として、売上は大きく伸びました。一方、検査用カテーテルシステムについては、国内市場においては、新製品投入などを積極的に実施し、また海外市場では、欧州・アジアを中心に代理店を通じた積極的な入札参加を実施いたしました。この結果、売上は減少いたしました。この結果、売上高は17億4千万円（前年同期比38.7%増）、営業利益は5億88百万円（同30.2%増）となりました。

低侵襲治療とは

医師が患者を治療する際に、患者に与える身体的・精神的ダメージのことを侵襲といいます。この侵襲を最小限に抑えるために、開胸・開腹手術をすることなく、最新の画像診断装置を駆使して血管の中から治療を行うことを低侵襲治療といいます。近年、内科・外科分野において広く応用されている治療方法であり、通常の外科手術に比較し、患者の身体的負担が軽減され、入院期間が短縮されるなどの利点があり、また付随して患者の経済的負担の軽減や、政府の医療費抑制策にも貢献する治療法と言われております。

Medical Device

メディカルデバイス事業



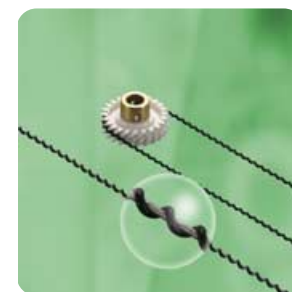
ACTONE™ (アクトワン)

当事業は、消化器分野、循環器分野、透析分野、放射線分野などに用いる低侵襲治療製品、および部材を開発・製造し、国内外の大手医療機器企業にOEM供給、ならびに部材の販売をいたしております。医療機器業界での同業者間における価格競争が激化していることにより、大手医療機器企業が、強力な販売網を活かし販売に注力すべく、製品製造について当社のような技術力、生産力に強みを持つ企業に、アウトソーシングに委ねる傾向にございます。このような環境の中、OEM供給品につきましては、国内大手医療機器メーカーへOEM供給しております検査用カテーテルが好調に推移いたしました一方、世界有数のメディカル総合企業へOEM供給しております透析用・肝臓ガン

治療用・末梢血管用ガイドワイヤーについては、市場への浸透が安定期に入ったことから、若干の売上減少となりました。医療部材につきましては、内視鏡関連製品が大手取引先の海外展開が好調であることに加え、当社トルク技術製品の採用が増加したことの影響を受け、受注が増加傾向にございます。また、ケーブルチューブ「ACTONE™」についても、米国のFoxHollow Technologies, Inc.社が、血管内アテレクトミーカテーテルの部材に使用するなど、医療機器部材としての使用機会が増加し、売上は大幅に伸びました。この結果、売上高は7億77百万円（前年同期比19.3%増）、営業利益は2億68百万円（同32.9%増）となりました。

Industrial Device

インダストリアルデバイス事業



シンクロメッシュロープ

当事業は、ワイヤー素材、アセンブリ品などの産業用の極細ステンレスワイヤーロープおよび端末加工品などを開発・製造し、主に産業機器メーカーへ販売しております。その販売分野は、アクセルケーブルを中心とした自動車産業、コピー機用光源駆動ロープやイメージスキャナ用特殊ロープを中心としたOA機器産業をはじめ、建築産業におけるシャッターや排煙設備など非常に多岐にわたります。近年は、韓国・中国を中心とした海外廉価製品との価格競争の激化や、OA機器複合化に伴い製品の市場価格が下落傾向にあるなど、端末加工品、ワイヤー素材共に、厳しい環境におかれております。端末加工品につきましては、OA機器関連製品

の縮小はあるものの、国内企業向けの液晶関連市場の売上が大幅に増加するほか、海外向けのレーザープリンター用CWの売上が増加し、売上は堅調に推移いたしました。一方、ワイヤー素材などにつきましては、ハイテンションワイヤーを用いた鮎釣り糸や、高圧ホース向けの線材の受注が好調に推移いたしました。この結果、売上高は11億98百万円（前年同期比1.6%減）、営業利益は3億15百万円（同11.3%増）となりました。

財務諸表(連結)

DATA

財務諸表(連結)

中間連結貸借対照表

(単位:千円)

科 目	第28期中間期 (平成15年12月31日現在)	第29期中間期 (平成16年12月31日現在)
【資産の部】		
流動資産	5,919,218	6,387,881
現金及び預金	2,923,686	2,875,203
受取手形及び売掛金	1,521,352	1,828,105
たな卸資産	1,015,794	1,270,333
繰延税金資産	57,485	84,771
その他	401,702	331,995
貸倒引当金	△ 802	△ 2,527
固定資産	4,362,980	4,914,357
有形固定資産	3,460,732	3,872,306
建物及び構築物	1,366,138	1,429,170
機械装置及び運搬具	510,570	650,263
土地	1,397,758	1,604,565
建設仮勘定	15,050	6,896
その他	171,214	181,410
無形固定資産	141,936	141,831
投資その他の資産	760,310	900,219
投資有価証券	26,760	39,961
繰延税金資産	124,571	132,718
保険積立金	552,713	577,320
その他	133,665	238,219
貸倒引当金	△ 77,400	△ 88,000
繰延資産	96	-
資産合計	10,282,295	11,302,238

(単位:千円)

科 目	第28期中間期 (平成15年12月31日現在)	第29期中間期 (平成16年12月31日現在)
【負債の部】		
流動負債	2,879,797	2,709,224
支払手形及び買掛金	492,990	497,594
短期借入金	1,946,622	1,453,724
未払金	185,351	243,280
未払法人税等	92,914	222,490
賞与引当金	37,104	54,725
その他	124,814	237,410
固定負債	2,968,751	2,328,121
長期借入金	2,421,646	1,760,402
退職給付引当金	108,540	126,325
役員退職慰労引当金	321,966	354,516
その他	116,598	86,877
負債合計	5,848,548	5,037,346
【資本の部】		
資本金	1,891,800	2,397,550
資本剰余金	1,519,110	2,291,760
利益剰余金	1,206,259	1,810,114
その他有価証券評価差額金	△ 604	899
為替換算調整勘定	△ 182,817	△ 235,431
資本合計	4,433,747	6,264,892
負債及び資本合計	10,282,295	11,302,238

中間連結損益計算書

(単位:千円)

科 目	第28期中間期 (平成15年7月1日から 平成15年12月31日まで)	第29期中間期 (平成16年7月1日から 平成16年12月31日まで)
売上高	3,098,292	3,680,244
売上原価	1,476,444	1,626,601
売上総利益	1,621,848	2,053,643
販売費及び一般管理費	1,051,021	1,342,713
営業利益	570,826	710,930
営業外収益	5,802	9,720
営業外費用	86,601	76,561
経常利益	490,027	644,089
特別利益	6,680	207
貸倒引当金戻入益	6,060	-
固定資産売却益	619	207
特別損失	11,053	2,460
固定資産売却損	-	499
固定資産除却損	11,053	1,961
税金等調整前中間純利益	485,653	641,836
法人税、住民税及び事業税	126,906	247,326
法人税等調整額	9,215	△ 10,474
中間純利益	349,531	404,985

中間連結剰余金計算書

(単位:千円)

科 目	第28期中間期 (平成15年7月1日から 平成15年12月31日まで)	第29期中間期 (平成16年7月1日から 平成16年12月31日まで)
【資本剰余金の部】		
資本剰余金期首残高	1,368,110	1,519,110
資本剰余金増加高 増資による新株の発行	151,000	772,650
資本剰余金中間期末残高	1,519,110	2,291,760
【利益剰余金の部】		
利益剰余金期首残高	946,583	1,550,655
利益剰余金増加高 中間純利益	349,531	404,985
利益剰余金減少高 配当金	89,855	145,526
役員賞与	-	20,000
利益剰余金中間期末残高	1,206,259	1,810,114

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科 目	第28期中間期 (平成15年7月1日から 平成15年12月31日まで)	第29期中間期 (平成16年7月1日から 平成16年12月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	318,201	267,854
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 191,607	△ 567,714
財務活動によるキャッシュ・フロー	394,591	△ 382,645
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 10,680	△ 3,683
現金及び現金同等物の増減額	510,505	△ 686,190
現金及び現金同等物の期首残高	1,871,469	3,026,301
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,381,975	2,340,111

中間貸借対照表

(単位:千円)

科 目	第28期中間期 (平成15年12月31日現在)	第29期中間期 (平成16年12月31日現在)
【資産の部】		
流動資産	5,276,870	5,721,715
現金及び預金	2,685,320	2,536,200
受取手形	483,100	542,229
売掛金	1,095,177	1,420,070
たな卸資産	715,810	809,212
繰延税金資産	27,676	48,150
その他	270,206	367,926
貸倒引当金	△ 420	△ 2,075
固定資産	4,705,236	5,224,722
有形固定資産	2,624,155	2,824,501
建物	913,302	897,730
構築物	14,298	14,820
機械及び装置	253,523	255,013
車両及び運搬具	672	461
工具器具及び備品	117,630	129,608
土地	1,309,677	1,519,969
建設仮勘定	15,050	6,896
無形固定資産	141,791	132,437
投資その他の資産	1,939,289	2,267,784
関係会社株式	1,128,196	1,184,041
繰延税金資産	190,802	212,931
保険積立金	552,713	577,320
その他	144,976	381,490
貸倒引当金	△ 77,400	△ 88,000
繰延資産	96	-
資産合計	9,982,203	10,946,437

(単位:千円)

科 目	第28期中間期 (平成15年12月31日現在)	第29期中間期 (平成16年12月31日現在)
【負債の部】		
流動負債	2,942,707	2,811,198
支払手形	406,185	370,671
買掛金	376,507	489,556
短期借入金	400,000	200,000
一年以内返済予定長期借入金	1,475,454	1,235,464
未払法人税等	45,044	176,899
賞与引当金	36,336	53,725
その他	203,179	284,881
固定負債	2,831,907	2,238,856
長期借入金	2,402,742	1,759,778
退職給付引当金	107,199	124,562
役員退職慰労引当金	321,966	354,516
負債合計	5,774,614	5,050,054
【資本の部】		
資本金	1,891,800	2,397,550
資本剰余金	1,519,110	2,291,760
資本準備金	1,519,110	2,291,760
利益剰余金	797,283	1,206,173
利益準備金	39,841	39,841
任意積立金	75,000	75,000
中間未処分利益	682,441	1,091,331
その他有価証券評価差額金	△ 604	899
資本合計	4,207,588	5,896,383
負債及び資本合計	9,982,203	10,946,437

中間損益計算書

(単位:千円)

科 目	第28期中間期 (平成15年7月1日から 平成15年12月31日まで)	第29期中間期 (平成16年7月1日から 平成16年12月31日まで)
売上高	3,090,313	3,849,170
売上原価	1,788,578	2,129,650
売上総利益	1,301,735	1,719,519
販売費及び一般管理費	939,817	1,193,854
営業利益	361,917	525,665
営業外収益	4,853	25,901
営業外費用	77,546	79,211
経常利益	289,224	472,355
特別利益	6,489	96
特別損失	11,053	1,929
税引前中間純利益	284,660	470,522
法人税、住民税及び事業税	79,036	189,074
法人税等調整額	△ 9,142	△ 21,648
中間純利益	214,766	303,096
前期繰越利益	467,674	788,234
中間未処分利益	682,441	1,091,331

株式の状況

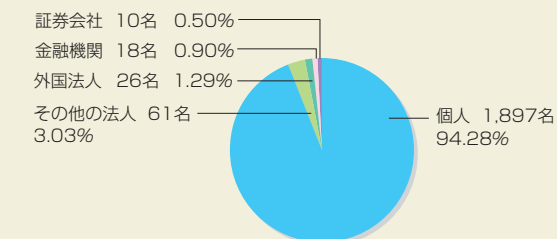
(平成16年12月31日現在)

会社が発行する株式の総数 25,000,000 株
発行済株式総数 7,126,300 株
株主数 2,012 名

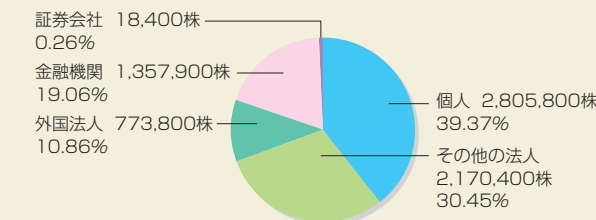
●大株主

株 主 名	持株数(株)	議決権比率(%)
宮田 昌彦	769,350	10.80
アイ・シー・エス・ピー有限公司	750,000	10.52
宮田 尚彦	499,000	7.00
宮田 憲次	478,250	6.71
株式会社ゲッツブラザーズ	354,000	4.97
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	351,700	4.94
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	305,200	4.28
日本ケーブル・システム株式会社	300,000	4.21
朝日インテック社員持株会	193,610	2.72
野村信託銀行株式会社(投信口)	151,200	2.12

●所有者別株式分布状況(株主数2,012名)



●所有株式数別分布状況(株式数7,126,300株)



会社の概要

商号	朝日インテック株式会社 ASAHI INTECC CO., LTD.
設立	昭和51年7月8日
資本金	23億9,755万円
従業員数	●単体 236名(平成16年12月31日現在) ●連結 1,147名(平成16年12月31日現在)
本社	〒463-0024 名古屋守山区脇田町1703番地 TEL 052-768-1211(代)
事業内容	①心臓循環器系疾患の診断および治療分野においての低侵襲治療製品(治療用カテーテルシステム、検査用カテーテルシステム)の開発・製造・販売 ②ワイヤー素材、アセンブリ品等の産業用ステンレスワイヤーロープの開発・製造・販売 ③消化器分野、循環器分野、透析分野、放射線分野における低侵襲治療製品・部材の開発・製造およびOEM供給

役員 (平成16年12月31日現在)

代表取締役社長	宮田 尚彦
代表取締役副社長	宮田 昌彦
常務取締役	川西 俊昭
常務取締役	竹内 謙次
取締役	福井 芳彦
取締役	湯川 一平
取締役	宮田 憲次
常勤監査役	前田 善雄
常勤監査役	渡辺 行祥
監査役	佐藤 昌巳
監査役	百瀬 登

(注) 監査役佐藤昌巳および百瀬登は、「株式会社の監査等に関する商法の特別に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役であります。

事業所

●国内事業所

東京営業所	東京都品川区
名古屋営業所	名古屋市守山区
大阪営業所	大阪府高石市
メディカル事業部	愛知県瀬戸市
神戸リサーチセンター	神戸市中央区
瀬戸工場(デバイス事業部)	愛知県瀬戸市
大阪工場(高石)	大阪府高石市
大阪工場(和泉)	大阪府和泉市

●国外事業所

香港支店	中国 香港
東莞石龍朝日精密鋼線廠	中国 広東省東莞市
欧州駐在所	オランダ アムステルダム

●関連会社

フィルメック株式会社	名古屋市守山区
ASAHI INTECC (THAILAND) CO., LTD.	タイランド パトゥムタニ県
ASAHI INTECC USA, INC.	米国 カリフォルニア州



本社(名古屋市守山区)



ASAHI INTECC (THAILAND) CO., LTD.



株主メモ

証券コード	7747
決算期	6月30日
定時株主総会	毎年9月
株主確定基準日	定時株主総会・利益配当金 6月30日 中間配当金 12月31日
名義書換代理人	三菱信託銀行株式会社
同事務取扱場所	三菱信託銀行株式会社 証券代行部 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
同取次所	三菱信託銀行株式会社 全国各支店
お問い合わせ先	〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 03-5391-1900(代) 0120-707-696(フリーダイヤル)
(郵便物送付先・電話照会先)	
公告掲載新聞	日本経済新聞 貸借対照表および損益計算書につきましては、当社のホームページに掲載しております。 http://www.asahi-intecc.co.jp/
株券の種類	100株券、1,000株券
1単元の株式数	100株
上場市場	JASDAQ
上場日	平成16年7月1日

IR情報は、ホームページ上でもご覧になれます。

ニュースリリース、財務情報、株主情報など、ホームページ上で最新の情報をご提供しております。

▶ <http://www.asahi-intecc.co.jp/>

株主の皆様へ

当社は、事業報告書を、株主の皆様とのコミュニケーションの場とさせていただきたいと考えております。お手数ですが、次のアンケートハガキにご意見、ご感想をお寄せください。(切手を貼らずにご投函ください。)

アンケートのお願い

- Q1 どこで当社をお知りになりましたか。
1. 証券会社 2. 新聞・雑誌 3. ホームページ 4. 知人の紹介
5. その他 ()
- Q2 当社株式をご購入された理由をお聞かせください。(複数可)
1. 技術力 2. 将来性 3. 収益性 4. 経営理念
5. 安定性 6. 事業内容 7. 財務内容 8. 株価
9. その他 ()
- Q3 当社株式をご購入された際の情報源は何でしたか。(複数可)
1. 四季報・会社情報等 2. 新聞・雑誌 3. 証券会社レポート
4. 証券会社の勧め 5. その他 ()
- Q4 今後、当社株式について、どのような方針をお持ちですか。
1. 長期保有 2. 買い増し 3. 売却
4. その他 ()

その他ご意見がありましたらお聞かせください。

ご協力ありがとうございました。

このアンケートのご回答は、今後の事業報告書の紙面づくりや、株主の皆様へのサービス拡充のために活用させていただきます。それ以外の目的で、株主の皆様の個人情報を公開・利用することは一切ございません。

キリトリ線



POST CARD

4 6 3 8 7 9 0

料金受取人払



名古屋市守山区脇田町1703
朝日インテック株式会社

総務チーム
株主アンケート係 行

差出有効期間
平成17年6月
30日まで
(切手を貼らずに
お出しください。)



ご芳名 または 貴社名	フリガナ
ご住所	〒 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
	都 道 市 区 町 村 府 県 郡 村

※アパート・マンション名など、正確にご記入ください。



朝日インテック株式会社

〒463-0024 名古屋市守山区脇田町1703番地
TEL 052-768-1211(代)

<http://www.asahi-intecc.co.jp/>



この印刷物は古紙配合率100%再生紙と
環境に配慮した「大豆油インキ」を使用しています。